

地域医療連携だより 7月号 第24号



Topics

- 眼科紹介
- 看護局 ふれあい看護体験
- 歯科口腔外科 インプラント治療をはじめました
- 地域医療・患者支援センターからのご案内
 - ・ 第70回地域医療連携セミナー開催のご案内
 - ・ 第71回地域医療連携セミナー開催のご案内
 - ・ 地域医療連携セミナー開催報告
 - ・ 地域包括ケア病棟 患者さんをご紹介ください

診療科紹介 眼科

当科は、日本眼科学会専門医2名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前中を2診制で行っています。午後は火・水曜日は手術日、それ以外の月・木・金曜日は検査・処置・小手術を予約制で行っています。

診療内容

眼科疾患全般（眼瞼・角膜・結膜・水晶体・ぶどう膜・網膜硝子体疾患、緑内障、感染症、斜視・弱視、外傷 等）をカバーして診察しています。

手術治療は白内障、眼瞼・結膜疾患、網膜・硝子体疾患などを中心に行っています。網膜静脈閉塞症・糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫、加齢黄斑変性に対する抗VEGF薬の硝子体注射も行っております。

白内障手術

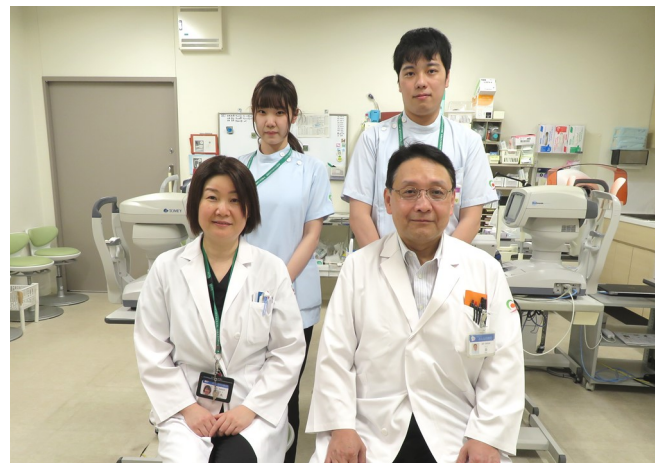
眼科の手術の中で、最も多く行っている手術です。局所麻酔下に、混濁した水晶体の中身を除去して、眼内レンズを挿入する手術です。令和3年の手術件数は281件でした。日帰りで行われることが多い手術ですが、当院では希望に応じて入院にも対応しています。入院60%、日帰り40%の比率です。入院できることで、手術に対して安心感が得られる場合もあると思います。患者さんの状況によっては、全身麻酔での手術を選択する場合があります。

なお、当院では挿入している眼内レンズは単焦点のレンズです。

糖尿病網膜症

平成28年の厚生労働省の国民健康・栄養調査の結果では糖尿病が強く疑われる者は約1,000万人、また糖尿病の可能性を否定できない者も約1,000万人いると推計されています。少し古いデータですが、平成3年の厚生労働省糖尿病調査研究班による合併症調査によると、糖尿病患者のうち、38.3%の割合で糖尿病網膜症を合併していることが報告されています。すわなち単純計算で、約380万人が糖尿病網膜症を発症していることとなります。

糖尿病を指摘されている患者さんの場合、内科に通院している方は多いのですが、眼科で定期的に眼底検査を受けられている方は少ないように感じています。糖尿病網膜症において、自覚症状が出現するのはかなり進行してからになります。早期発見・早期治療を行うことで、将来の自分の視力を守ることができます。糖尿病の方は定期的に眼底検査を受けて下さい。



硝子体手術

網膜・硝子体疾患（黄斑上膜、黄斑円孔、硝子体出血、糖尿病網膜症、網膜剥離など）に対して、硝子体手術を行っています。硝子体カッター、眼内器具、眼内照明を直接眼内に差し込んで行なう手術です。白内障を認める場合は、同時に白内障手術も行います。緊急の場合は、事前にご相談下さい。



眼瞼手術

加齢とともに眼瞼を持ち上げたり支えたりする筋力が衰え、眼瞼下垂や眼瞼内反が生じます。当科では比較的簡便で侵襲の少ない方法で手術治療を行っています。症例によっては形成外科に紹介させていただきます。まずはご相談下さい。

抗VEGF治療

糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫、加齢黄斑変性などに対して、抗VEGF薬（アイリーア）の硝子体内注射も行っています。

（文責 谷 英紀）

看護局 ふれあい看護体験

今年度も、6月18日、「ふれあい看護体験」を開催しました。「ふれあい看護体験」とは、高松市在住の中高生を対象に、看護体験や病院見学を通じて、看護への理解と関心を深めていただくため、毎年実施しているもので、今年度は、事前に応募のあった元気あふれる10名の高校生の皆さんにご参加いただきました。

冒頭、看護局長から、ナイチンゲールについてのお話や、「忘れられない看護体験」のエピソードなど、看護師という仕事の大変さと、その仕事から得られるやりがい、達成感、充実感などが感じられる講話を行い、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けておられました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、病院見学はできませんでしたが、新生児の人形を用いての身体測定や、手術看護体験では、実際にガウンテクニックをして手術器材に触れていただいたり、その他救命救急処置などを、看護師の指導の下に行いました。参加者の皆さんは、はじめは緊張した面持ちでしたが、体験が進むにつれて徐々に積極的に取り組まれ、最後には笑顔も見られるなど、リラックスして楽しんでいただけました。

体験終了後、看護局長から一人一人に、受講修了証を手渡し、最後に屋上のヘリポートで記念撮影を行い、参加者の皆さんからは、「看護師になりたい気持ちが強くなった」などの感想が聞かれました。職員も普段行くことがない場所で、高松



を一望できる眺めと、救急医療の現場の空気感を体感していただきました。

今回の「ふれあい看護体験」を通じて私たち看護師も、参加者の皆さんが熱心に取り組まれている姿に、元気をいただくことができました。

